

お道具会　　↳専科動法の種

この度、一人一品以上持ち寄りのお道具会を開催します。初めて出会う道具により、どのような感覚が生じるのか。そしてその感覚を損なわずに用いるために生じる動き、即ち動法と専科性を参加者全員で探求、共有していく会とします。

我々の暮らしの中には道具が数多くあり、日常的に用いる道具もあれば、ある特定の場面でしか用いない道具も多数あります。それらは客観的に観れば物の持ち替えであり移動でしかありません。例えば、茶杓を持つこととスプーンを持つことは何が違うのか。物を扱うという行為そのものは同じことをしているのに、何故これ程までに多様な道具が存在しているのか。用途が違うと言えばそれまでですが、そこにはその道具を形成するに至るまでの経緯がそのものの中に存在していると考えます。その謎を紐解くのに物に触れた瞬間に生じる感覚を手掛かりにしていきます。

会場…中野区新井3-9-4　一聡社二階和室

日時…十一月七日　十二時～十五時　会費…四千円

参加資格…晴風学舎　普通会员以上　稽古着の着用無くとも可

一品以上の道具或いは素材や物の持ち込みをお願い致します。どんなものでも構いません。（どうしてもない方はご相談下さい）

担当…　動法教授　北川　智久

技術研究員　岡田　吉央

令和八年九月十七日